光村ポケット

中学校 英語

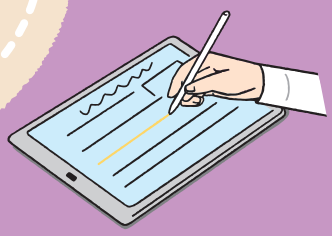
学習者用デジタル教科書＋教材で
「自立した学習者」を育む



沖縄県
うるま市立伊波中学校

- ☑ 学習者用デジタル教科書の活用例を知りたい
- ☑ デジタル教科書に関する生徒アンケートを見たい
- ☑ 「自立した学習者」の姿の具体例を見たい





ひとつでも当てはまる方は、ぜひ中面をご覧ください！

LINE公式アカウント友だち募集中!
授業づくりに役立つ情報を、いち早くお届けします。

光村図書

教授用資料 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

デジタル教科書で子どもたちの学びがどう変わったか

伊波中学校では、学習者用デジタル教科書＋教材を活用し、生徒が自ら学び方を調整する「自立した学習者」の育成に取り組んでいます。毎時間の自学学習や「進捗シート」の活用を通して、生徒の主体性を引き出し、授業と家庭学習をつないでいます。

毎時間の自学学習でデジタル教科書を個別活用





伊波中学校の英語の授業では、いつも次のような流れで進められています。まず、指導者用デジタル教科書にあるフラッシュカードを使って、１ユニット分の語句を５分程度確認します。その後、語句や本文の学習を通して家庭学習へつながるように、自学時間を12分程度設けます。その際、生徒はその時間に取り組む目標を「進捗シート」（スプレッドシート）に記入し、その目標に対して一人ひとりが自分に合ったやり方でコンテンツを使います。

自分に合った「学び方」を主体性をもって選択する

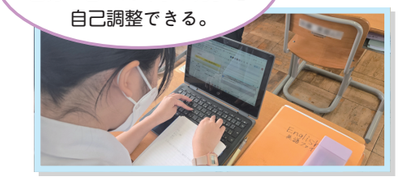
「進捗シート」を活用して、本時の目標、取り組むべき課題とその進捗、学習の成果、ふり返りを一元化することで、目的に対して見通しをもちながら自分に合った学び方で学習する意識を高めています。



番号	名前		文字数	New Words (Kyoko-まなび⑧～あ)	New Words (World Classroom)	Reading① (World Classroom)	マスク学習① (まなび⑧～あ)	Let's make a poster! (ロイロノート提出)	語順ドリル@スタサプ
1	[redacted]	mustとhave to~を使いこなす。	20	完了！	現在進行中	現在進行中	完了！	現在進行中	完了！
2	[redacted]	mustとhave toを完璧に使用	18		現在進行中	現在進行中	完了！	完了！	
3	[redacted]	助動詞mustと一般動詞have to をう使えるようになる	30		完了！	完了！	完了！		完了！
		have to			現在進行中	完了！	完了！	現在進行中	完了！

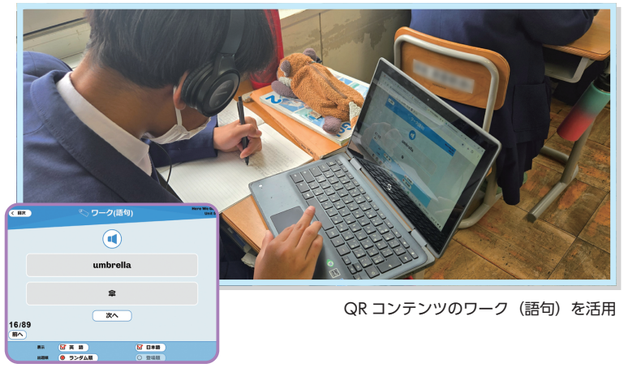
授業のおわり				
今日の学習の成果（英文を１文書こう）	今日の振り返り 1英文ポイント	今日の振り返り たこと・疑問に思ったこと・工夫したこと・反省した	文字数	振り返りポイント 判
We need to prepare an emergency bag.	3		0	
We must prepare an emergency bag.	3	最初は、音楽の話が聞けなかったりしたけど、ゲームとかをすると、最初のほうはmustとhave toを完璧につ	73	
We need to stay in an open space.	3	助動詞mustと一般動詞have toを使いたときは「なにをれ」ってわかったりとどんどんやっていって理解しは	64	
We need to check the weather infomation.	3	mustとhaveを使うと自は助動詞だから、canやwillと同しように動詞は原形で主語の後ろに助動詞を置く、とい	137	

生徒が学習の目的を理解できているため、自分に合った「学び方」を自己調整できる。

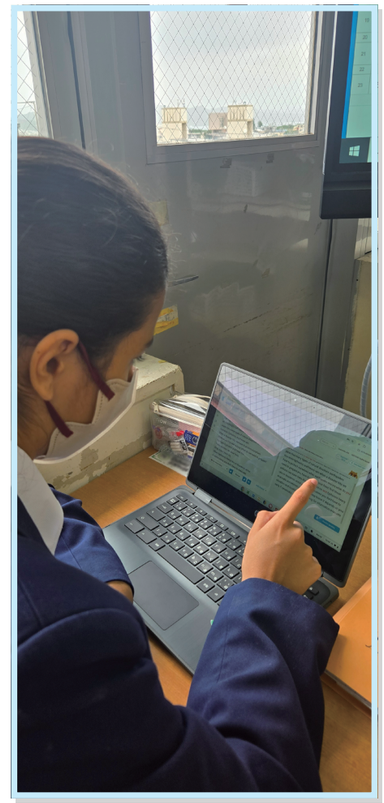


「進捗シート」は、文部科学省 リーディングDXスクール生成AIパイロット校等の取組を参考に、先生方が夏休みに作成、２学期より導入しました。伊波中学校では現在ほぼ全教科で取り入れています。進捗を実感できたり、友達の成果物を参考にできるのも良い影響を与えているようです。

語句の学習



QR コンテンツのワーク（語句）を活用



AI 教材（光村図書のデジタル教科書とは別商品）を使って音読を採点



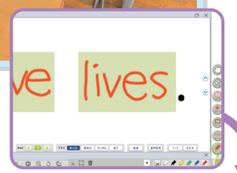
学習者用デジタル教科書＋教材のフラッシュカードを見ながら、語句の文字と音を確認し、ノートに手写し

本文の学習

これらの他にも、
QRコンテンツの
ワーク（本文）で本文確認、
本文ドラマを字幕付きで視聴
など学び方は実にさまざま！

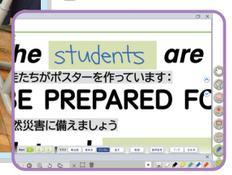


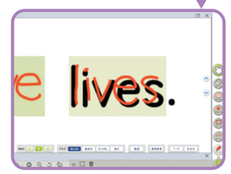
学習者用デジタル教科書＋教材の本文に新出語のマスクをつけて、マスクの上に指でスペルを書く





音声を聞きながらマスクの上に指でスペルを書く

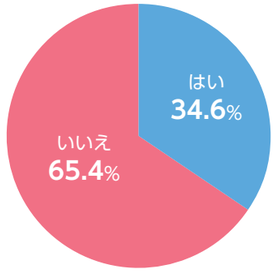




マスクを外して確認

自学自習力を育み授業と家庭学習をつなぐ

授業だけではなく家庭学習でも活用していますか。



デジタル教科書は授業での活用だけではなく、約35%の生徒が家庭学習でも活用しています。具体的な活用法を聞いてみました。



スピーキングテスト（＊）を使っている



単元ごとの単語をノートに書いて覚える。
本文の内容を英文から読み取る練習

単語テストに向けてフラッシュカードで練習している





I use it in school to talk with friends and learn the words. I am using it by remembering the story and trying to talk with a friend.



テスト前に本文のまとめ、ふり返りや単語の暗記などテスト勉強として活用

単語練習する際や、本文の内容をしっかり理解したいときに活用しています



など、使い方はさまざまです。また、

授業中にできなかった、本文に関する問い（T/F、Q&A）を解いている





発音を確かめたり、生活の中で活かせるような文章の構成を見つけたりしています

などもありました。

授業で学んだことをふり返るなど、授業と家庭学習をつないだ学習サイクルを構築できている生徒の姿があります。先生方は、意図的に、参考にしてほしい家庭学習での活用法を紹介するなど、「自学自習力」を育み、デジタル教科書をうまく活用することにつなげています。

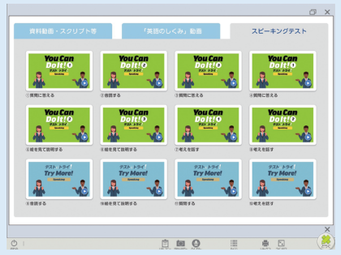
＊スピーキングテスト



内の



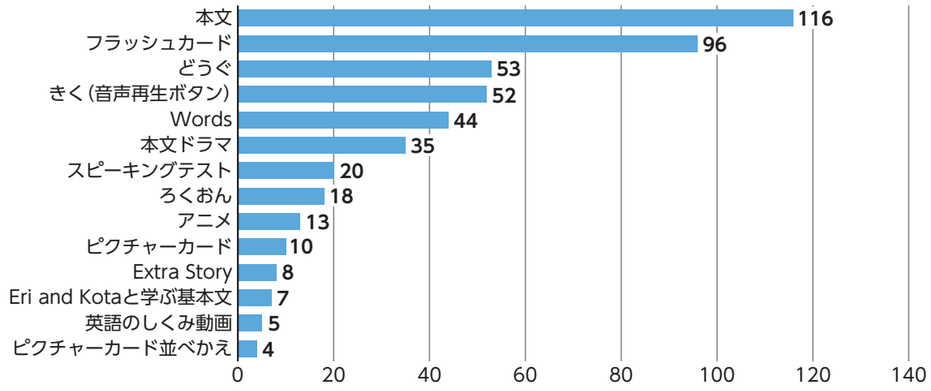
から起動する

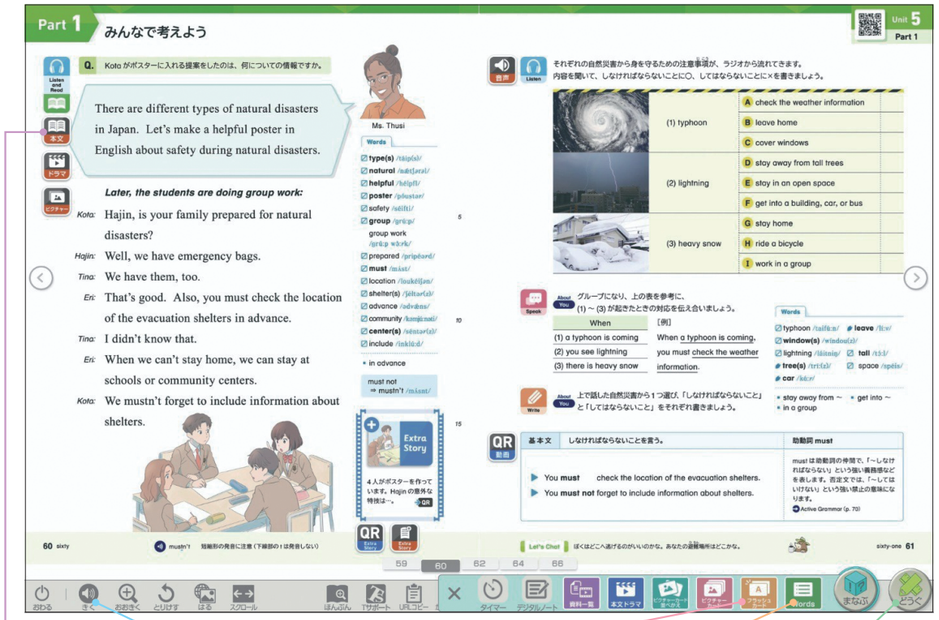


生徒にアンケート

よく使う機能やコンテンツを教えてください。（複数選択）

総回答数 136





1位 本文
教科書本文拡大画面。主に音読活動で使用される。

4位 きく
英語表記部分をネイティブ音声で確認できる音声再生ボタン。

2位 フラッシュカード
覚えたチェック機能あり。

5位 Words
当該単元の語句の音声と意味を確認できる。

3位 どうぐ
マーカーやふせん、スタンプなど書き込みをするためのツール。

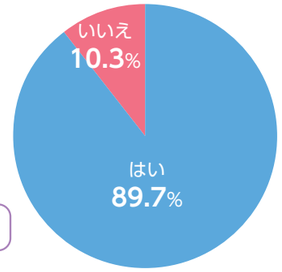
また、その中で役立っていると感じる機能やコンテンツについてもきいてみましたが、その結果も上記とほぼ一致していました。

デジタル教科書を活用することで学習しやすくなる！

およそ90％の子どもたちが、デジタル教科書によって「学習しやすくなった」と感じています。

具体的な意見を紹介します。

デジタル教科書を使うようになって、学習しやすくなったと感じることはありますか。



単語を書けないことが多かったけど、デジタル教科書で練習したから、できるようになった

読み方や発音がわからない単語をすぐ聞くことができる

文への書き込みがしやすくなったり要点がまとめられていてすぐわかったり、自分のペースで学習を進められる。また、和訳と英語を交互に見ることで文法も覚えられる

教科書だけだと発音の仕方がわからない所もあったけど、デジタル教科書だと何回も発音を聞くことができるところが良いなと思った

わからなかったところをマーカー機能でマークを付けて見返すことができる

本文の和訳が見られるので、内容が頭にはいってくるようになった

音声を聞いたり、和訳を見ながらマスクした英語を考えて書くことで単語などを覚えられた

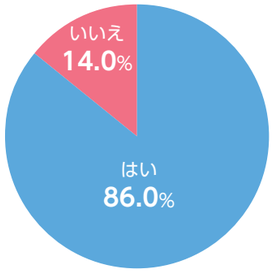
教科書だとシャーペンで書いたとき消しにくいし、書いたものがどこにあるか探しにくいけど、デジタル教科書だとそれが簡単にできる

単語の意味とその単語を理解するだけでなく、それが文中にどのように組み込まれているかをマスク学習で確認できる

デジタル教科書には、紙ではできない良さ、つまり、見やすい・読みやすい・書きやすい・聞き取りやすいなど、「〇〇しやすさ」が数多くあります。これらにより、生徒一人ひとりが困難に感じていたことを解消し、学習しやすさにつながっているのだと考えられます。

また、リーディングのとき、教科書やワークシートなどに書いてある文字（単語）を見るだけではなく、文字を見ながら音声も聞くことができると読みやすくなるかについてもきいてみました。86％の生徒が文字を見るだけではなく音声も同時に聞くことができるとリーディングしやすくなると答えています。

リーディングのとき、音声を耳で聞くと読みやすくなりますか。

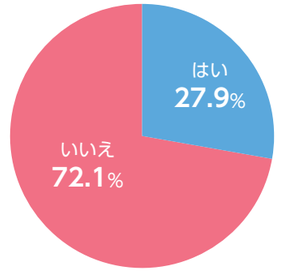


ペアやグループ活動で学び合う子どもたち

個別ではなくペアやグループでデジタル教科書を活用することはありますかという質問に対して、約30％の生徒が「はい」と答えています。

具体的には、

個別ではなくペアやグループで活用することはありますか。



フラッシュカードで友達と単語練習

本文の問題を解いたりするとき（グループで）

フラッシュカードを用いて、単語の意味を互いに理解したり、文章の読み方を再確認したりしています

本文の内容をみんなで確認している

みんなで単語を当て合っている

などの声がありました。



この日の授業では、本文の内容理解を確かめるためのワークシートに取り組んでいます。この学習は、一人で取り組むのは難しいという生徒もいるため、友達と協力しながら進めることができるようにグループ活動としています。教科書本文のどこにヒントがあるか、ワークシートの問いに対する答えを導き出すヒントを教えるなど、学び合う様子が多く見られました。先生は、英語が得意な子が苦手な子に教えてあげる、そのような学び合う姿を意図してグループ活動としているようです。

デジタル活用のベースには、「わからないことを安心してきくことができる」「困っている友達がいれば助けてあげる」「友達の成長に気づいて伝える」など、心理的安全性のある学習環境が整っていることも挙げられます。

英語科の先生方にお話をうかがいました

令和５年度より学習者用デジタル教科書が使えるようになりました



鉢嶺 協子（はちみね きょうこ） 先生

デジタル教科書が導入された当初は使い方に戸惑いがありましたが、生徒に任せてみると、自分たちで工夫しながらさまざまな使い方を生み出すようになりました。特に「＋教材」にあるコンテンツの活用は学びを深めるうえで効果的で、誰かが新しい使い方を見つけると教師は「〇〇さんがこんな使い方をしているよ」と紹介し、それが広がってさらに発展していくなど、活用の幅は自然に広がっていきました。教師は指導者から、生徒の工夫を支援する役割へと変わっていきました。来年度も生徒の要望を受けて教材をプラスしたデジタル教科書を活用しながら、主体的な学び方づくりを後押ししていきたいと思います。

進捗の可視化とデジタル教科書が支える主体的な学びと的確な支援



佐次田 暁世（さしだ あきよ） 先生

授業では、必要な学習内容を「進捗シート」にまとめておきます。生徒はそれを見ながら帯活動の10～12分間を自分に合った方法で学習しています。進捗シートは一目で進度を把握できるため、教師は場所や時間を問わずに確認・評価できます。また、家庭学習として帯活動を進める生徒もいます。デジタル教科書は自学に適しており、自主性や意欲を高めるために欠かせない存在となっています。

紙とデジタルを組み合わせる子どもたちの学習スタイル



比嘉 愛里子（ひが えりこ） 先生

デジタル教科書を生徒に使わせてみると、紙とデジタルのどちらかに偏るのではなく、それぞれの良さを生かして自然に使い分けています。英語が好きな生徒は、言いたい表現を探すときに紙の教科書をめくり、必要な表現を見つけていました。一方で、デジタル教科書ではマスク機能を使った本文学習が効果的で、反復学習に向いている様子が見られました。自分だけの参考書を作るように、重要な内容は紙の教科書に書き込む生徒が多く、メモの取り方も手書き派とタイピング派に分かれ、学習スタイルの違いがはっきり見えました。こうした姿から、生徒は自分に合った方法で紙とデジタルを柔軟に使い分けており、一人ひとりに最適な活用法があることがよくわかりました。

ICT活用で教師本来の役割へ集中できる

デジタル教科書がない時代には、マスク学習用の教材やフラッシュカードを教師が一つ一つ準備していました。現在では、その一部をデジタル教科書に委ねることができるようになり、机間指導の時間を確保しやすくなっています。例えば、生徒の進捗シートを見ながら、学習の進みが遅い生徒に声をかけたり、つまずきに応じた支援を行ったりすることができます。ICTの活用によって、教師は教材準備に追われるだけでなく、生徒一人一人の状況を見取り、学びを支え、励まし、学びの実感につなげる働きかけに、より力を注げるようになりました。これは、ICT活用が教師本来の役割をより豊かにしていることの表れだと考えます。

学習者用デジタル教科書＋教材　ご購入のご案内

学習者用デジタル教科書に
＋教材を追加するには

価格：一人当たり **440**円(税込)
ライセンス期間：**購入年度末まで**

デジタル教材サポートページ➡

光村図書

教授用資料
発行者　吉田直樹
発行所　光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)
イラスト　つまようじ

光村図書ウェブサイト
光村図書